

県関係議員が授粉作業

国会敷地内
サクランボ



サクランボの授粉作業を行う県関係国会議員

—東京・国会

国会敷地内に「都道府県の木」として植栽されているサクランボ(山形県の木)の花が咲き、県関係国会議員が9日、春恒例の授粉作業を行った。

県東京事務所によると、議事堂前の衆参両院側に主力品種の「佐藤錦」のほか「紅秀峰」「紅さやか」の

3品種計4本の木があり、開花時期が早い「紅秀峰」は既に満開となった。県関係国会議員6人のうち、近藤洋介衆院議員と大沼瑠穂参院議員が参加した。

ミツバチが飛び交う中、両議員は毛ばたきを使用し、県園芸試験場が冷凍保存した花粉を丁寧にかけて回った。敷地内のサクランボは5月下旬から6月上旬にかけて結実し、国会関係者と参観者の目を楽しませる。

遠藤利明、鈴木憲和、加藤鮎子の各衆院議員は眞議選に出馬した系列候補らを支援するため、岸宏一参院議員は自身が委員長を務める予算委員会締めくくりの総括審議のため、それぞれ欠席した。